

専門分野・基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	診療に伴う看護Ⅰ 1単位 30時間（感染・創傷管理・検査処置）		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	吉田聖乃	実務経験	有
<p><科目のねらい> 本科目は、治療、検査、処置などの内部環境を調整する技術の意義を理解し、健康の充足・維持増進のために実施される診療の補助技術に必要な基本的知識と援助技術の方法を習得することがねらいである。</p> <p><到達目標> 1.感染成立の条件、院内感染防止の基本を知り、看護師が感染防止のために実践する重要性を理解する。 2.創傷とその治癒のメカニズムを知り、治癒のために必要な環境を理解する。 3.検査について理解し、それぞれの検査時の看護を理解する。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 感染防止の技術 1) 感染防止の基礎知識 2) 標準予防策（スタンダードプリコーション） 3) 感染経路別予防策	講義・演習	
2回目	1. 感染防止の技術 標準予防策（手洗い・手指衛生）	演習	
3回目	1. 感染防止の技術 標準予防策（手袋・エプロン）	演習	
4回目	1. 感染防止の技術 1) 消毒・滅菌 2) 無菌操作 3) 感染性廃棄物の取り扱い	講義	
5回目	1. 感染防止の技術 標準予防策（清潔手袋・無菌操作について）	演習	
6回目	1. 創傷管理技術 1) 創傷管理の基礎知識 2) 創傷処置	講義	
7回目	1. 無菌操作 2.創傷処置	演習	
8回目	1. 無菌操作による創傷処置の実施	演習	
9回目	1. 検査・処置の介助技術 1) 生体検査	講義	
10回目	1. 検査・処置の介助技術 1) 生体検査	演習	
11回目	1. 検査・処置の介助技術 1) 穿刺の介助	演習	
12回目	1. 検査・処置の介助技術 1) 検査を受ける患者の看護	講義	
13回目	1. 静脈血採血とは	講義	
14回目	1. 安全な静脈血採血の実施	演習	
15回目	終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	講義が中心ですが、演習も含みます。演習はモデルを用いて行いますが、実際の患者に行うつもりで真剣に取り組みましょう。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
参考書			